

船上で歴史ロマン

備前県民局とNPOがイベント

50人が児島湾学ぶ

(岡山市中区新築港)を出港し、旭川下流から児島湾を巡回した。

神武東征神話の舞台・高島宮があったとされる高島、竜宮城の入り口といわれる隼島(つぶり島)などを見学し、県地区衛生組織連合会長の

区飽浦)で、尾田正元県水産試験場長が同湾の漁場環境について講演した。
同NPOは、自然観察会や清掃活動、環境学習会などを通じ、児島湖・瀬戸内海の環境保全活動に取り組んでいる。

NPO法人「グリーンパトナーおかもま」(藤原瑠美子理事長)と岡山県備前県民局はこのほど、船上から児島湾の伝説を学ぶ「今昔ロマン溢(あふ)れる歴史文化船路巡り」を行った。

3歳の幼児から大人まで約50人が参加。船で新岡山港

小山亮一さんが講演。藤原理事長も紙芝居で子どもたちに分かりやすく歴史を解説した。写真。水中カメラで濁った水を観察し、参加者は歴史のロマンを感じながら、「水をきれいにする努力が必要」と環境保全の大切さを再認識していた。

同港に戻った後、甲浦コミュニティハウス(同市南

